

令和4年5月30日

保護者様

畠部小学校長
石黒英男

学校におけるマスク着用について（お知らせ）

日ごろから皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただき誠にありがとうございます。

このたび、厚生労働省・文部科学省より、マスク着用について、別添リーフレットが配布されました。

学校としては、基本的な感染対策を引き続き行ってまいりますが、対策の1つであるマスク着用については、今回配布されたリーフレットに沿って、児童生徒だけでなく、教職員も含め対応していきます。

今回の対応は、お子様・保護者様がマスクの着用を希望し、引き続きマスクを着用することを否定するものではありません。しかし、これから気温・湿度が高くなり、熱中症リスクも高くなりますので、お子様に呼吸が苦しい様子等が見られる場合は、必要に応じてマスクを外し、他の児童生徒との距離を確保して休憩するよう対応します。

学校での感染拡大を防止するために、学校の感染防止対策だけでなく、引き続き、ご家庭の協力が重要となります。

今後も、お子様の安心・安全な教育環境の確保にご理解とご協力を願います。

記

1. マスク着用の必要がない場面

【屋外】

- 人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合
- 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合

【屋内】

- 人との距離（2m以上を目安）が確保でき、会話をほとんど行わない場合

2. マスク着用の必要がない学校生活における場面例

- 登下校
- 休憩中の密にならない外遊び
- 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含めた体育の授業
- 運動部活動→接触を伴う活動を行う場合は、各競技団体が作成するガイドラインに沿って対応します。活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を行います。

3. 以下のことについて、ご協力ください。

熱中症防止のため、夏場は、「息苦しいとき」「周囲の人との距離（目安2m以上）がとれているとき」は、マスクを外してもよいことをご家庭でもお伝えください。

マスクを外す場面が増えると、マスクを落としたり、装着の際にゴムひもが切れたりすることも考えられます。予備のマスクの準備に、ご協力を願います。

担当 教頭 中澤正志
電話 21-0029